

子どもを育てるって？

ーロールプレイをしてみましようー

1 本時の目標

- (1)実際に経験したことのない親の役割演技を行うことにより、親としての立場の理解を深め、同時に子どもの気持ちも理解させる。
- (2)乳幼児期の親の養育態度が子どもの人格形成に大きく影響を与えていることに気付かせ、どのようにかわればよいのかを考えさせる。

2 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
親の働きかけと子どもの人格形成に関心を持ち、親の役割について考えようとしている。	ロールプレイを通して、子どもに対する親の働きかけの方法や態度について思考を深めている。		

3 展開例（時間：50分程度）

	生徒の活動	教師の働きかけ、評価
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が子どもの頃、親に理解されずに悲しい気持ちになったことはなかったか振り返る。 ○聞き分けがない子どもの対処に自分自身が困ったり、親が困っているのを見たことがあるか思い出してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもは、良い・悪いの区別なく自己主張することがある。時には、親として子どもの行動を受け止めにくいこともある。そのような場面を生徒自身の経験の中から振り返らせる。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題： ロールプレイをしてみよう </div>		
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ○親の対応の4つのタイプについて確認し、それぞれの場合の親と子どものせりふを考える。 ○グループで、お互いにせりふを発表し合う。 ○それぞれのタイプから1つずつ選んでロールプレイを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事例を提示する。（ワーク1の事例から1つを取り上げる。） ○親の対応の仕方（態度）として、4つの典型的なタイプ「支配的」「拒否的」「服従的」「過保護的」に分類し、各自で親子のせりふを考えさせる。 ○生徒がせりふを書き終わるタイミングを見て、4～5人のグループを作る。 ○演技者と観察者の役割を決める。

	<ul style="list-style-type: none"> ○「ワーク2」を行う。 ○他のグループのロールプレイを見て、感じたこと（親の気持ち・子どもの気持ち）を「ワーク2」に記入する。 ○親の態度が子どもの人格形成に影響することについて考える。 ○理想と思う親のせりふとその時の子どもの気持ちを考えてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○演技者は、首から 子ども 親（保護者） と書いた厚紙を下げるようにする。 ○親の1タイプずつで時間を区切り、各グループとも一斉に演技をする。 ○ロールプレイが終了したら、生徒にそれぞれの立場で感想を述べさせる。 ☆親の働きかけが子どもにどのような影響を与えるか考えようとしている。 〈関心・意欲・態度〉 ○ワーク3「親の態度と子どもの性格への影響」を見ながら、親の養育態度が子どもの人格形成にどのような影響を及ぼすか解説する。あくまで傾向であることを伝える。 ○事例の場合は、どんな対応が理想的であるか考えさせる。 ☆ロールプレイを通して、好ましい親の働きかけや態度について考えている。〈思考・判断〉 ○数名の生徒に発表させる。なぜ、そう考えるのか、子どもの気持ち、子どもへの影響についても述べさせる。
まとめ5分	<ul style="list-style-type: none"> ○「ふりかえり」を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時を振り返って、乳幼児期の子どもとの接し方について、気付いたこと、感じたことを記入させる。

* 指導上の留意点

- 親の対応の仕方（態度）のタイプを設定することで、親のせりふ、対応の仕方による子どもの気持ちが考えやすくなり、ロールプレイを盛り上げることができる。
- ロールプレイを行うことにより、さまざまな立場の人の意見や考えを理解し、自分とは違った多様な視点を育てることができるという効果が期待できる。
- 子どもの健やかな成長のためには、親は愛情に基づく態度で子どもとかわること、優しさと厳しさのバランスを考えて子どもとかわることが必要であることに気付かせたい。